

フィギュアスケート 2008－2009年国際競技会選考基準

平成 20 年 9 月 23 日
(財) 日本スケート連盟

1. 世界選手権

今年度は、男女とも 3 枠ずつあるので、全日本選手権の上位 2 名を選考する。残る 1 名については、全日本選手権の順位・内容、当該シーズンの国際競技会のベスト・スコアとその内容を総合的に考慮した上で選考する。

ただし、グランプリ・ファイナル・メダリストは最上位 1 名のみを強化部推薦とする場合がある。これは、世界のトップ・スケーターであり、I S U 選手権大会で上位入賞が期待できること。また、体調面で全日本選手権と日数が近いことを配慮するため（全日本前に告知する必要があるため特殊ケースとしてフィギュア委員会を省略する）。あくまでも推薦であって、全日本出場が条件であり、最終的にはフィギュア委員会、理事会にて決定する。

2. 世界ジュニア選手権

今年度は、男子 1 枠、女子 2 枠であるので、全日本ジュニア選手権の上位者を選考する。

3. ユニバーシアード、4大陸選手権

本年度については、バンクーバー・オリンピックの参加枠を決定する世界選手権を最優先する必要があるため、この両大会については、選手の参加希望を事前にアンケートで確認する。対象選手は、東西日本上位 3 位選手とそこでグランプリに重なっている選手、シード選手とする。

上記アンケートを参考に、全日本選手権の上位から優先して選考することを基本とするが、その際、全日本選手権の順位だけでなくその内容、当該シーズンの国際競技会のベスト・スコアとその内容、派遣選手の振り分け等を総合的に考慮する。

以上、特殊ケースを除き強化部推薦→フィギュア委員会承認→臨時理事会決定とする。